

鎌倉文化—公家文化の自覚

東国に武家政権が樹立し、鎌倉時代の幕が開かれた。新時代の文化の第一線で活躍したのは、公家であった。公家は武士の興起から新政権樹立という歴史の動きに衝撃を受け、文化の担い手としての自覚を深めて、鎌倉時代の新しい文化をまぎ生み出した。そもそも、何世紀にもわたって中国文化の受容と国風化を担ったのは公家であり、文化の伝統から遠い武家が独自の文化をもつには、長い年月を必要とした。

やがて鎌倉時代も半ばを過ぎると、武士・庶民の動きと密接なつながりをもつ文化が生まれていった。

○文学の新傾向

●和歌

職業的な専門歌人が登場して、歌の指導・優劣の判定を勤めた。

⇒専門歌人の登場の一方で、⁽¹⁾ _____ 上皇は和歌に異常な意欲を示し、
13世紀初頭、⁽²⁾ _____ らに『⁽³⁾ _____』を編纂させた。

◇(2) …小倉百人一首の選者

◇(3) …八代集の最後を飾る勅撰和歌集



13世紀初頭には、優れた歌集が(3)の他にも登場した。

『⁽⁴⁾ _____』…(1)に学んだ3代将軍⁽⁵⁾ _____ の歌集

『⁽⁶⁾ _____』…もと武士で、出家して諸国を遍歴した⁽⁷⁾ _____ の歌集

◇(4) …「金」とは鎌の偏を表し、「槐」とは大臣の中国名である槐門の意



図1 藤原定家



図2 西行

●随筆と説話

<随筆>

『⁽⁸⁾ _____』…平安末期の災厄を描き、人や社会の無常を嘆く⁽⁹⁾ _____ の随筆

『⁽¹⁰⁾ _____』…14世紀の動乱期を深い洞察力で描く⁽¹¹⁾ _____ の随筆

◇(8) (10) …和漢混淆文の代表作

<説話>

『^{じっしんしょう} 十訓抄』…作者不詳の儒教的説話集

『^{しゃせきしゅう} 沙石集』…無住の仏教説話集

『^{ここんちよもんじゅう} 古今著聞集』…橋成季の作で、貴族文化に関する説話集



図3 鴨長明



図4 兼好法師

●紀行と日記

鎌倉が政治の拠点になると、京都・鎌倉間を往復する人が増加した。

⇒『⁽¹²⁾ _____』『⁽¹³⁾ _____』などの紀行(旅行中の体験記)が登場した。



『⁽¹⁴⁾ _____』…⁽¹⁵⁾ _____ の日記で、夫藤原為家(定家の子)の
所領訴訟のために鎌倉に下る話などの紀行も記録

◇(14) …太陰暦16日の夜に京都を出発したことに由来

◇(15) …訴訟の結果を待たずに死去



図5 阿仏尼

●軍記

院政期に軍記物語が登場して以来、合戦記録は公家の関心を引いた。

『⁽¹⁶⁾ _____』…保元の乱（1156年）を題材とする軍記物語

『平治物語』…平治の乱（1159年）を題材とする軍記物語

『⁽¹⁷⁾ _____』…平氏の興亡を題材とする軍記物語

⇒(17) は⁽¹⁸⁾ _____ によって⁽¹⁹⁾ _____ として語られた。

◇(17) …『徒然草』に「行長入道、平家物語をつくりて」とあり、作者は^{しなののぜんじ ゆきなが}信濃前司行長か

◇(19) …琵琶を弾きながら（17）を語る音楽

盲目の漂白民—琵琶法師

古くから^{せんみん}賤民の中には、琵琶の演奏をおこなう者がいた。平安時代中頃から雅楽の系統を引く音楽が庶民に浸透し始めると、盲僧琵琶に雅楽を加味した琵琶法師が現れた。鎌倉時代後期に漂白の賤民である琵琶法師が『平家物語』を広めたことは、文化の担い手の中心が公家であった前期から後期への推移をよく伝える。



○学問と思想

●歴史と古典研究

<歴史書>

社会変動の中で、公家社会の推移を見つけようとする気運が生じた。

⇒藤原忠通の子で天台座主の⁽²⁰⁾ _____ は、『⁽²¹⁾ _____』を著し、

武士の時代の到来の必然性を説き、討幕の計画を進める後鳥羽上皇を諫めた。

◇(21) …物事には全てそれがそうである**道理**があり、
特に歴史を貫く大きな道理を模索した歴史書



図6 慈円

<その他の歴史書>

『⁽²²⁾ _____』…鎌倉幕府が編纂した歴史書

『水鏡』…「四鏡」の1つで、鎌倉時代初期に成立

『^{げんこうしやくしょ}元亨釈書』…^{こかんしれん}虎関師錬が著した、鎌倉時代末に成立した日本仏教史

◇(22) …幕府の行事も掲載されるが、ほとんどが公家の年中行事であり、
武家文化が、公家文化を大きな土台にして成立していた証拠

<古典研究>

過ぎ去った良き時代への懐古・尊重から、公家社会の儀礼・年中行事・

官職などを研究する⁽²³⁾ _____ という学問が盛んになった。

◇承久の乱後に配流された順徳上皇は、著書『⁽²⁴⁾ _____』で(23)を解説

<公家文化の受容・理解>

鎌倉時代前期、幕府・武士は公家文化の受容・理解に努めた。

⇒⁽²⁵⁾ _____ は⁽²⁶⁾ _____ を建て、京都から書物を収集した。

◇(26) …鎌倉の外港として栄えた^{むつら}六浦の金沢に立地



図7 北条（金沢）実時